

令和元年度 事業報告書

I 事業報告

1 事業概要

令和元年度の日本経済は、海外経済や通商問題の動向に不確実性があり、輸出を中心に弱さが続いたものの、令和2年2月までは、企業収益が高水準で推移し、雇用・所得環境の改善が続くなど、緩やかな回復が続いた。ただし、同年3月になると、新型コロナウイルス感染症の影響により、景気が下押しされ、厳しい状況となった。

埼玉県内においては、雇用情勢、消費者物価、企業の設備投資意欲は緩やかな改善の傾向にあるものの生産活動の弱含みの状況が長引き、経済の回復に向けた動きに足踏みがみられた。

このような中、当社は、今後の成長が期待される産業の振興や、A I・I o Tの導入促進等による企業の生産性向上支援、販路開拓支援など、中小企業の発展と県内産業全体の活性化に資する様々な事業の展開に努めた。

令和元年度に実施した主な取組の概要は以下のとおりである。

(1) 企業支援

① 経営支援

自社の現状分析や課題の整理、業績や経営資源の向上など、県内中小企業が抱える様々な課題に対応するため、企業からの各種相談に応じたほか、専門性が高い課題の解決を支援するため専門家派遣を実施した。

② サービス産業の振興

サービス産業事業者を対象にI C T活用アドバイザーが、集客・売上拡大や生産性向上のためのI C T導入・活用についてアドバイスを実施した。

(2) 創業・ベンチャー支援

創業予定者や新規創業者を対象とした相談業務や、各ステージに合わせた創業セミナーを開催するとともに、ベンチャー企業の成長を促進するためビジネスマッチング等を実施した。また、県内の条件不利地域（過疎法、山村振興法対象エリア）における起業を創出するため埼玉県起業支援金事務局を運営した。

(3) 販路開拓支援

① 取引振興

さいたまスーパーアリーナを会場とする大規模な展示商談会や、近県と連携した広域的な商談会、県内各地域での商談会などを幅広く開催するとともに、職員等が発注企業を巡回訪問して新規発注案件を発掘し、受注企業とのマッチングを図った。

② 海外展開支援

県内中小企業の海外市場への進出を支援するため、実務経験豊富なアドバイザーによる貿易投資相談や様々なセミナー、情報交換会を実施したほか、香港、インドネシアにおける商談会等の開催や、商工団体と連携した海外展示会等への出展支援を実施した。

(4) 新産業振興

① 先端産業支援

「医療イノベーション」、「新エネルギー」、「ロボット」、「ナノカーボン」、「航空・宇宙」などの先端産業に取り組む企業を支援するための総合相談窓口を開設するとともに、各分野のプロジェクト等を実施することで実用化・製品化開発を支援した。

② 中小企業I o T活用支援

県内中小企業がI o Tを活用して生産効率化などに取り組むための総合相談を実施した。また、I o T活用の普及・啓発を図るためのセミナーやA I・I o Tに関する人材育成をはじめとしたI o T人材育成講座を開催するとともに、A I導入促進を目的にA I・I o Tを活用して生産性向上や付加価値向上につなげる仕組みを構築するための経費の一部を補助した。

③ 産学連携支援

県内中小企業やベンチャー企業の研究開発と大学や研究機関等の研究分野をマッチングさせるため、相談窓口を開設するとともに、競争的研究資金の獲得を支援するなど、産学連携による研究開発を総合的に支援した。

④ 知的財産支援

県内中小企業等の知的財産の創造・保護・活用を促進するため、ワンストップで知的財産に関する相談に対応するとともに、弁理士等の専門家を企業に派遣し、個別課題の解決を支援したほか、知的財産に関する啓発や知識の向上を目的としたセミナーなどを実施した。

⑤ 次世代自動車産業支援

県内の自動車関連企業に対し、次世代自動車の技術研究や既存自動車の高効率化、軽量化に向けた技術開発、製造現場の改善、国内外の自動車メーカー等への販路拡大などを総合的に支援した。

(5) 人材育成・情報支援

各階層別の研修や実務的な研修を総合的・体系的に実施し、県内中小企業の人材育成を支援するとともに、情報誌やセミナーなどを通じて企業経営に役立つ情報を幅広く提供した。また、ICTコンサルティング等を実施して中小企業におけるICTの有効活用を支援・促進した。

2 評議員会開催状況

日付	事項	摘要
平成31年 4月 1日	第1回評議員会	評議員の選任
令和元年 6月 4日	第2回評議員会	平成30年度事業報告及び決算並びに評議員の選任
令和元年 6月27日	第3回評議員会	理事の選任
令和元年11月15日	第4回評議員会	評議員の選任

3 理事会等開催状況

日付	事項	摘要
平成31年 4月 1日	第1回理事会	評議員の選任
令和元年 5月14日	監事監査	平成30年度事業報告及び決算報告の監査
令和元年 5月17日	第2回理事会	平成30年度事業報告及び決算等
令和元年 6月27日	第3回理事会	理事の選任
令和元年10月28日	第4回理事会	令和元年度事業中間報告
令和元年11月15日	第5回理事会	評議員の選任について
令和 2年 3月12日	第6回理事会	令和2年度事業計画及び予算並びに令和2年度事業費の借入限度額、中期経営計画の原案等

4 評議員の異動状況

就 任

役 職 名	氏 名	就 任 年 月 日	備 考
評議員	加 藤 和 男	平成31年4月 1日	
評議員	石 井 進	令和元年 6月 4日	
評議員	戸 所 邦 弘	令和元年 6月 4日	
評議員	池 田 一 義	令和元年11月15日	

退 任

役 職 名	氏 名	退 任 年 月 日	備 考
評議員	渡 辺 充	平成31年4月 1日	
評議員	上 條 正 仁	令和元年 6月 4日	
評議員	加 藤 喜 久 雄	令和元年 6月 4日	
評議員	佐 伯 鋼 兵	令和元年11月15日	

5 役員の異動状況

就 任

役 職 名	氏 名	就 任 年 月 日	備 考
理 事	長 堀 和 正	令和元年 6月27日	

退 任

役 職 名	氏 名	退 任 年 月 日	備 考
理 事	町 田 秀 夫	令和元年 6月27日	

Ⅱ 事業実施状況

1 企業支援

(1) 経営支援

① 経営相談の実施

職員等による窓口相談、弁護士による法律相談を実施した。

相談件数	主な相談内容	
1, 945件	経営全般（下記以外を含む）	1, 077件
	取引適正化	406件
	I S O	146件
	I T活用	141件
	B C P	108件
	法律	36件
	技術	31件

② 事業承継の支援

事業承継コーディネーターを配置するとともに、弁護士や税理士等による専門的な相談に対応した。また、支援機関職員等を対象とした研修会を実施した。

ア 事業承継相談

区分	相談件数
事業承継コーディネーターによる相談	210件
専門家による相談	15件

イ 事業者向けセミナー

開催日	テーマ	講師	参加者数
7月8日	経営者のための事業承継と税務上の取扱い	相澤 尚行 氏 税理士法人みらい	18人
9月19日	M&A体験談	吉原 祐司 氏 元（株）吉原燃料店 代表取締役	29人
11月28日	株式公開と成長型M&Aを活用した事業承継	宇壽山 凶南 氏 （株）東京証券取引所 上場推進部	22人
2月26日	第三者への事業承継	吉原 祐司 氏 元（株）吉原燃料店 代表取締役 川本 知彦 氏 （株）サイサン 代表取締役副社長	8人

③ 支援専門家の派遣

ア 専門家派遣を行うため、支援専門家の登録を実施した。

支援専門家の登録者数	内 訳	
801人 (令和2年3月末現在)	中小企業診断士	310人
	企業等OB人材	287人
	技術士	61人
	マネジメントシステム専門家	54人

支援専門家の登録者数	内 訳	
*複数資格保有者がいるため、登録者数と内訳の合計は一致しない。	I T関係専門家	51人
	公認会計士・税理士	45人
	社会保険労務士	44人
	弁護士・司法書士・弁理士	30人
	販売士	24人
	一級建築士	2人

イ 経営、技術、情報などに関する課題解決のため、支援専門家を活用して診断助言を実施した。

(ア) チーフマネージャー、マネージャーの配置 3名

(イ) 支援企業数、派遣日数等

支援企業数	派遣日数	主な支援テーマ
34社	201日	<ul style="list-style-type: none"> ・5S活動による改善・提案の活発化と従業員意識の向上 ・製造原価に目標設定を導入し、利益重視の経営体質を構築 ・特殊治具・工具の開発でバリ取り作業の全廃 など

ウ 経済産業省関東経済産業局で実施している「地域プラットフォーム事業ミラサポ」の専門家派遣を活用して、経営革新に取り組む中小企業に対して診断助言を実施した。

支援企業数	派遣日数	主な支援テーマ
64社	131日	<ul style="list-style-type: none"> ・契約書の作成に伴う法的アドバイス ・HPと連動した販促活動の検討 ・新商品開発、レシピ開発と販促素材の検討

④ マネジメントシステム導入支援

ア マネジメントシステム導入支援

I S O等のマネジメントシステムを構築しようとする中小企業へのコンサルティングを実施した。

事業名	実績	概要
マネジメントシステム導入支援	8社	派遣回数 52回
		<支援先内訳>
		IS09001 6社 JISQ9100 2社

イ I S Oフォローアップ支援

I S O認証取得企業へのフォローアップを実施した。

事業名	実績	概要
I S Oフォローアップ支援	1社	派遣回数 3回
		<支援先内訳> IS09001とIS014001の統合 1社

ウ 環境法規制関連情報提供

公社会員を対象に、環境法規制の関連情報を提供した。

利用会員数
77社

エ B C P 導入支援

災害等の発生時に迅速な事業復旧を進めるため、中小企業における事業継続計画（B C P）の普及啓発及び策定支援を実施した。

事業名	実績	概要
B C P 導入支援	8社	派遣回数 33回 <支援先内訳> 中小企業庁版B C P（入門） 1社 中小企業庁版B C P（基本） 4社 中小企業庁版B C P（中級） 1社 国土交通省版B C P 1社 レジリエンス認証 1社

⑤ 若手経営者支援【フォース21】

県内中小企業の後継者・若手経営者の交流クラブ「フォース21」を運営し、経営トップとしての資質の向上、人的ネットワークづくりや情報収集体制の構築等について支援するため、定例会及びテーマ別研究会を開催した。（令和2年3月末現在9グループ、117名）

内容	実績
定例会の開催	2回
テーマ別研究会の開催（オープンセミナー）	4回
・講演会 3回	
・工場見学 1回	
各グループの活動（例会）	49回

⑥ 経営診断等事業

公社在籍の中小企業診断士を活用し、川口市、戸田市から中小企業の診断業務等を受託した。

事業名	実績	概要
創業診断	2件	企業数 2社
地域貢献事業者診断	6件	企業数 6社
起業相談会	12日	相談件数 21件

⑦ よろず支援拠点事業

県内中小企業・小規模事業者の経営支援体制をさらに強化するため、国の中小企業・小規模事業者ワンストップ総合支援事業を受託し、埼玉県内の「よろず支援拠点」の実施機関として、総合的・先進的経営支援を実施した。

ア チーフコーディネーター、コーディネーターの配置	19名
イ よろず支援拠点相談対応件数	10,657件
ウ よろず支援拠点課題解決件数	1,786件

⑧ 中小企業高度人材支援事業（プロフェッショナル人材戦略拠点）

県内中小企業が、高度な「プロフェッショナル人材」を活用して、新たな取組に積極的に挑む「攻めの経営」へ転換し、経営革新を進めることを促進するため、プロフェッショナル人材戦略拠点を運営し、人材のマッチングをサポートした。

ア マネージャーの配置	5名
イ 相談件数	488件
ウ マッチング成約件数	103件
エ セミナーの開催	3回

(2) サービス産業の振興

① サービス産業事業者 ICT・AI活用支援

サービス産業事業者向けに具体的なICT導入方法や活用事例を見える化、ICT活用効果の理解拡大を図り、サービス産業事業者のICT導入を推進した。

ア アドバイザーの配置	3名
イ 相談件数	181件
ウ セミナーの開催	6回

2 創業・ベンチャー支援

創業予定者や新規創業者、ベンチャー企業の成長を支援するために「創業・ベンチャー支援センター埼玉」を運営し、利用者の各ステージに合わせた様々な相談業務を行った。

また、創業に必要な知識を体系的に学ぶためのセミナーやベンチャー企業の成長を促進するためにビジネスマッチングを実施した。

① 創業相談支援

創業前、創業時、創業後の相談者の各ステージの課題解決を図るため、経験豊富な開業アドバイザー（9人）などを配置して相談に対応するとともに、より専門的な相談に対しては、司法書士や税理士等の士業団体との連携による専門相談会を実施した。

ア 相談件数

	実績
相談件数	3,069件 (うち 専門相談 41件 女性創業相談 1,686件)

イ 公的融資申請支援件数

内容	申請受付件数
埼玉県制度資金	13件
日本政策金融公庫	37件

ウ 創業件数

	実績
創業件数	252件

図1：相談内容区分

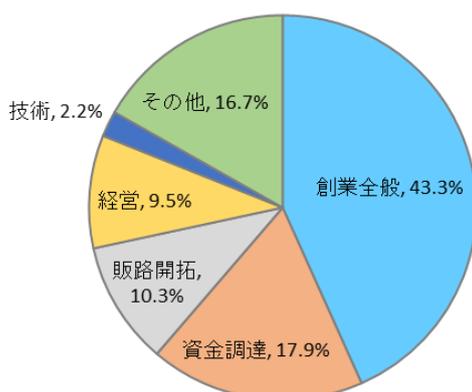
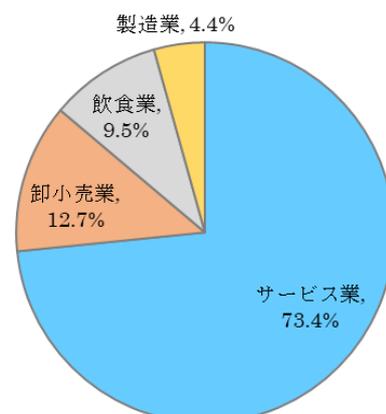


図2：創業者の業種区分



② セミナー等の開催

創業までの心構えから創業後のマーケティング等まで、創業の各ステージに合わせたセミナー等を開催した。

内 容	開 催 日	参加者数
起業実務手引きセミナー	① 4月13日	34人
	② 7月6日	38人
	③ 11月9日	18人
起業実務手引きセミナーin越谷	6月1日	34人
起業へ一歩前進セミナー	① 4月17日	30人
	② 1月29日	15人
起業へ一歩前進セミナーin戸田	6月19日	21人
起業準備セミナー（入門編）	① 5月18日	41人
	② 7月20日	33人
	③ 11月16日	26人
	④ 1月18日	24人
起業準備セミナー（初級編）	① 6月29日	25人
	② 9月7日	14人
	③ 12月7日	9人
	④ 2月15日	20人
起業準備セミナー（Web活用編）	① 6月15日	31人
	② 8月17日	25人
	③ 10月19日	28人
	④ 2月22日	25人
個人事業と法人ではどちらがお得セミナー	① 5月24日	35人
	② 10月11日	22人
創業後ステップアップ交流会 ※②は新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から中止とした。	① 7月18日	46人
	② 2月26日	中止
決算書の見方セミナー	① 7月26日	20人
	② 11月22日	13人
目的別SNS活用セミナー	9月4日	33人
起業時に考えたいお金のことセミナー	9月20日	19人
今更聞けない利益や資金繰り仕組みセミナーin戸田	9月25日	13人
シニアのための起業はじめ方セミナーin羽生	6月21日	7人
シニアのための起業はじめ方セミナー inさいたま市立大宮図書館	8月30日	30人
シニアのための起業はじめ方セミナーin白岡	11月15日	12人
シニアのための起業はじめ方セミナーin三郷	2月12日	8人

内 容	開 催 日	参加者数
シニア起業事例発表会	1月18日	230人
確定申告セミナー	12月14日	21人
SDGs 起業セミナー	12月19日	18人
計	34回	1,018人

③ 女性の創業支援

ア 女性起業支援施設の運営

「女性起業支援ルームCOCOオフィス」を管理・運営し、アドバイザー（2名）により利用者からの相談に対応するとともに実践的なセミナーを開催した。

- (ア) 利用者数 31名（令和2年3月31日現在）
- (イ) 相談件数 92件（女性創業相談を含む）
- (ウ) COCOセミナー等 9回 参加者数 103名

イ 女性創業支援チームの運営

女性創業支援アドバイザー（3名）などを配置し、女性のビジネスの立ち上げ時から成長期までの創業相談などに対応した。

- 相談件数 991件（女性創業相談を含む）

ウ 女性創業スタートアップ塾

開 催 日	延べ参加者数	会 場
9月12日～10月31日 (5日間)	129人	新都心ビジネス交流プラザ (さいたま市)

エ 市町村等連携女性プチ起業セミナー

市町村	開 催 日	参加者数	会 場
熊谷市	5月28日	23人	埼玉県立熊谷図書館
小川町	7月10日	16人	リリックおがわ
鴻巣市	7月19日	10人	鴻巣市市民活動センター
川口市	9月27日 1月17日	21人 33人	メディアセブン 鳩ヶ谷駅市民センター
川島町	10月2日	9人	川島町役場
東松山市	10月8日	16人	東松山市創業支援センター
上尾市	1月22日	36人	プラザ22
三郷市	1月31日	10人	三郷市保健センター
本庄市	2月 9日	27人	旧本庄商業銀行煉瓦倉庫
朝霞市	2月17日	25人	朝霞市産業文化センター

市町村	開催日	参加者数	会場
入間市	3月2日	中止	入間市産業文化センター ※新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から中止とした。
蓮田市	3月13日	中止	蓮田市立図書館 ※新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から中止とした。

オ 女性ビジネスプランコンテストの開催

女性起業家の成長を促進し、埼玉県から国内外で活躍するロールモデルともいえるべき女性起業家を輩出することを目的としたビジネスプランコンテストを実施した。

開催日	事業名	聴講者数	会場
11月30日	SAITAMA Smile Women ピッチ 2019 (公開プレゼンテーション7社)	204人	大宮ソニックシティ 第一展示場

④ ベンチャー成長支援

ア 彩の国ベンチャーマーケットの開催

資金調達や販路開拓、事業提携などの課題を抱えるベンチャー企業を対象に、ベンチャーキャピタルや金融機関、大手企業、行政機関等との出会いの場を設け、ビジネスマッチングを図った。

開催日	事業名	支援企業数	来場者数
1月30日	彩の国ベンチャーマーケット	6社	96人

イ ベンチャー支援セミナーの開催

独創的なビジネスモデルや経営戦略を実践している起業家や経営者を講師に迎えたセミナーを開催した。

開催日	内容	参加者数	備考
2月6日	【論語と算盤塾】 「官民連携によるSDGs未来都市の実現」 講師：ヨコハマSDGsデザインセンター センター長 信時正人氏	65人	共催：新都心ビジネス交流プラザ運営協議会

⑤ 起業支援金埼玉県事務局運営

県内の条件不利地域（過疎法、山村振興法対象エリア）における起業を創出するため、対象地域9市町村（秩父市、飯能市、本庄市、ときがわ町、横瀬町、皆野町、小鹿野町、東秩父村、神川町）で社会課題を解決する起業をした者に対し起業支援金を交付した。

- ア 交付件数 20件
イ 交付額 30,842千円

⑥ 創業補助金埼玉県事務局運営

国の平成24年度及び平成25年度補正予算により創設された創業補助金の地域事務局を運営した。

3 販路開拓支援

(1) 取引振興

① 受注取引拡大

受注企業の取引機会の確保を図るため、さいたまスーパーアリーナを会場として中小企業の加工技術・製品等を展示し広くPRする「彩の国ビジネスアリーナ2020」を実施した。

また、関東5県ビジネスマッチング商談会、九都県市合同商談会を実施し広域的な取引拡大の機会創出を図った。

ア 商談会の開催等

事業名	実績
彩の国ビジネスアリーナ 2020	1月29日～30日 さいたまスーパーアリーナ 出展数 807小間（企業、団体、グループ680社） 来場者 17,603人
広域商談会	関東5県ビジネスマッチング商談会 9月19日 東京ビッグサイト 発注企業 129社/受注企業235社うち県内52社 商談件数 306件
広域商談会	九都県市合同商談会 2月5日 パシフィコ横浜 発注企業 120社/受注企業274社うち県内56社 商談件数 203件
展示会出展支援	機械要素技術展 2月26日～28日 幕張メッセ 出展企業 10社 商談件数 147件
地域別商談会	西部地域ミニ商談会 9月27日 狭山市市民会館 発注企業 23社/受注企業 47社 商談件数 176件 上尾版ビジネス商談会 10月18日 上尾市文化センター 発注企業 5社/受注企業 14社 商談件数 25件 川口市受発注企業商談会 10月25日 埼玉県産業技術総合センター 発注企業 13社/受注企業 28社 商談件数 84件 ※東部地域ビジネスマッチングフェア（当初2月27日開催予定）については、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から開催中止となった。

イ 取引あっせん件数及びあっせん結果

（単位：件）

あっせん件数			あっせん結果			
本年度	前年度からの繰越分	合計	成立	不成立	折衝中	合計
2,009	3,624	5,633	103	4,307	1,223	5,633

② 企業情報調査

企業を巡回訪問し、受発注に関わる情報を収集するとともに、発注企業の新規外注計画や受注企業の設備状況等に関する調査を実施した。

ア 受発注企業巡回訪問

取引あっせんアドバイザー及び職員が企業を巡回訪問し発注案件の開拓及び受注ニーズを把握し取引を促進した。

事業名	実績	概要
受発注企業巡回訪問	489社	アドバイザーによる巡回訪問 214社 職員による巡回訪問 275社

イ 調査情報提供

取引あっせんを行うための基礎情報として、主要発注登録企業における外注計画等の動向を把握するための調査や、受注登録企業における最新の設備・取引状況等の実態を把握するための調査を行った。

事業名	実績	概要
新規外注計画調査	2回	発注登録企業を対象に新規外注計画等を調査 ① 7月17日～26日 調査対象企業 930社 回答企業 130社 (回答率14.0%) うち発注希望あり85社 (65.4%) ② 2月7日～21日 調査対象企業 913社 回答企業 142社 (回答率15.6%) うち発注希望あり92社 (64.8%)
受注登録企業設備調査	1回	受注登録企業を対象に保有設備等を調査 12月16日～25日 調査対象企業 1,022社 回答企業 448社 (回答率43.8%)

ウ 企業情報の発信

インターネットを利用して広域的な受発注取引の促進や新たな取引機会の拡大を図るため、情報発信を希望する企業を公社のホームページに掲載した。

内容	実績	概要
企業情報の発信	855社	公社ホームページに企業情報を掲載

③ 取引に関する相談

ア 下請かけこみ寺相談

中小企業が抱える取引上の様々な相談に対応し、下請取引の適正化を図った。

相談件数	主な相談内容
406件	買ったたき、代金支払遅延 ほか

(2) 海外展開支援

① 中小企業国際化支援

ア 海外事業相談 502件

実務経験豊富なアドバイザーによる貿易投資相談(毎週 火・水・木曜日)、埼玉県ベトナムビジネスサポートデスクなど埼玉県が海外に設置する支援拠点への取次相談、職員等による相談など企業の海外展開に関する様々な相談を行った。

イ セミナー・交流会・研究会等の実施

成長著しいアセアンなどの新興国市場への海外事業展開を支援するため、国・地域別、テーマ別のセミナーを開催した。また、公社が長年培ってきたネットワークを活かし、研究会や情報交換会等を開催し、中小企業間及び中小企業と支援機関との連携を強化することで国際競争力の向上を図った。

(ア) 国際ビジネスセミナー 12回 参加者合計515人

開催期日	セミナー名	参加者数
6月 6日	マレーシア最新動向セミナー	36人
6月 6日	ミャンマー最新動向セミナー	41人
9月 4日	高度外国人材活用セミナー	38人
9月11日	食品・飲食業海外販路拡大セミナー	23人
9月25日	ジェトロ世界貿易投資報告2019セミナーin 埼玉	21人
10月 3日	海外展開セミナー～フィリピンの最新経済概況～	35人
10月16日	貿易実務入門講座	6人
10月18日	ジェトロ埼玉事業説明会	181人
12月 5日	新興市場開拓セミナー～中東市場を狙え～	31人
12月18日	海外ビジネスにおける安全対策実践セミナー	23人
1月15日	海外EC活用セミナー	28人
1月22日	初めての酒類・食品輸出セミナー&個別相談会	52人

(イ) 国際情勢勉強会等 13回 参加者513名

国際情勢勉強会と中国事情情報交換会を実施し、県内企業の国際競争力の強化、経営のアドバイス、ネットワーキング構築を支援した。

3月に開催予定だった国際情勢勉強会及び中国事情情報交換会は新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点からそれぞれ1回中止した。

国際情勢勉強会(愛知淑徳大学 真田教授を囲む会) 11回 参加者456名

中国事情情報交換会(孫会長を囲む会) 2回 参加者 57名

(ウ) 中小企業海外展開研究会「輸出塾」 6回 参加者合計63名

輸出を目指す企業による研究会「輸出塾」を設置し、ワークショップなど実践的な勉強会や情報交換を実施した。

ウ 海外での現地支援事業

埼玉県が県内企業の海外展開を支援するため中国、ベトナム、タイに設置しているサポートデスクや、国内外に配置しているマッチングコーディネータと連携し、中国・アセアン市場進出等を支援した。

概 要	取次件数	主な取次内容
サポートデスクとの連携	124件	取引先発掘・紹介 41件 情報提供 19件 輸出・輸入 15件など
マッチングコーディネータとの連携 (対象国等：インドネシア、香港)	3件	取引先発掘・紹介 3件

② 海外展示会等への出展支援

今後の経済成長が見込まれる中国（香港）・アセアン等新興国においてビジネス展開できるよう支援するとともに、成長が期待される分野における販路拡大を支援した。

ア 海外での展示商談会出展支援

(ア) 埼玉県フェア in 香港そごう2019の開催

期 間：8月7日～13日

場 所：中国（香港）

参加企業：8社、商談件数：31件

(イ) アセアン諸国小児外科学会議展示会の出展支援

期 間：9月25日～27日

場 所：ベトナム（ハノイ）

参加企業：2社、商談件数：25件

(ウ) ウィーン日本茶輸出商談会2019の出展支援

期 間：10月10日～12日

場 所：オーストリア（ウィーン）

参加企業：6社、商談件数：120件

(エ) 寄居町商工会と連携した Sy- & Hantverks festival 展示会の出展支援

期 間：10月25日～27日

場 所：スウェーデン（ストックホルム）

参加企業：3社、商談件数：69件

(オ) 和光市商工会と連携したオーストラリア現地企業との商談支援

期 間：11月18日～26日

場 所：オーストラリア（シドニー・メルボルン）

参加企業：1社、商談件数：20件

(カ) インドネシア技術交流会の開催

期 間：1月13日～15日

場 所：インドネシア（ブカシ）

参加企業：4社、商談件数：30件

(キ) NBAA-Business Aviation Convention Exhibition 出展支援

期 間：10月22日～24日

場 所：アメリカ（ラスベガス）

参加企業：2社、商談件数：23件

③ 海外企業等の招聘

「彩の国ビジネスアリーナ2020」において、海外企業や外国政府関係機関などによるグローバルゾーンを設置し、県内企業等とのマッチングを促進した。

期 間：1月29日～30日

開催場所：さいたま市（さいたまスーパーアリーナ）

出 展 者：15社・団体、商談件数：596件

④ 海外認証等取得補助支援

欧州や米国での製品販売に必要な国際的な認証資格（CEマーク、UL規格、ISO13485、FDA、CFDA）の取得を支援した。

ISO13485認証取得助成金交付 1社

4 新産業振興

(1) 先端産業支援

先端産業に関する総合相談や開発動向等の紹介を行う「先端産業支援センター埼玉」を運営するとともに、医療イノベーション、新エネルギー、ロボット、ナノカーボン、航空・宇宙の各重点分野のプロジェクトを実施することで、先端産業分野に取り組む企業を総合的に支援した。

① 先端産業支援センター埼玉の運営

「先端産業支援センター埼玉」にコーディネータ、アドバイザーを配置し、技術指導、企業マッチング、補助金の活用などの総合相談を実施するとともに、「埼玉県先端産業創造プロジェクト」の取組状況や開発動向等を紹介する展示コーナーを運営した。

内 容	実 績
相談件数	2, 125件
展示コーナー見学者数	9, 180人

② 医療イノベーション事業

県内ものづくり企業と医療機器メーカー、病院、大学等と連携しながら医療現場のニーズに即した新たな医療機器等の開発や医療機器産業への参入を目指す企業を支援した。

ア 総合相談の実施

(ア) コーディネータの配置 6名

(イ) 相談件数 1, 016件

イ 医療機器三者連携開発モデル構築事業

「医療機関」（ニーズ）、「ものづくり企業」（開発）、「製販企業」（マーケティング）の三者の連携による「売れる」医療機器の開発を支援した。

(ア) 三者連携構築のためのニーズマッチング

開 催 日	ニーズ提供医療機関	参加者数
7月30日	ニーズマッチングin埼玉医科大学総合医療センター	64人
12月6日	ニーズマッチングin埼玉医科大学国際医療センター	62人

(イ) 展示会・商談会

2月18日 埼玉医療機器等製品事例等成果発表会 21社出展、参加者146名

ウ 医療機器開発支援セミナー 2回開催

開催日	内 容	参加者数
6月28日	<ul style="list-style-type: none"> ・成功する医療機器開発ビジネスモデル ・医療機器開発-臨床現場から得る情報の活用について ・電極ビジネス インターフェースの面白さ 	55人
8月28日	ふくしま医療機器開発支援センター見学会 ・センター概要や安全性評価に関する講演、施設見学 等	24人

エ 先端医療手術機器研究会 2回開催

開催日	内 容	参加者数
10月16日	<ul style="list-style-type: none"> ・脳血管内治療に関する現状 ・不整脈治療と使用する機器について 	44人
11月20日	<ul style="list-style-type: none"> ・悪性腫瘍(がん)に対する放射線治療 ・腹腔鏡時代の大腸癌手術 	36人

オ 展示会・学会への出展支援

◆展示会

開催日	内 容	参加企業数
10月23日～25日	メディカルジャパン東京 2019(医療機器・設備EXPO) (幕張メッセ)	5社
10月23日～25日	MEDIXヘルスケア・医療機器開発展2019東京 (幕張メッセ)	1社
1月18日～19日	メディセオ総合医療フェア2020inTOKYO (東京国際フォーラム)	1社
1月29日～30日	彩の国ビジネスアリーナ 2020 (さいたまスーパーアリーナ)	2社
2月26日～28日	メディカルジャパン大阪 2020 (インテックス大阪)	4社

◆学会

開催日	内 容	参加企業数
7月 6日～ 7日	第31回 日本整形外科超音波学会 (愛知県産業労働センター ウィンクあいち)	1社
7月11日～12日	第51回日本動脈硬化学会総会・学術集会 (国立京都国際会館)	1社
7月13日～14日	第35回 日本義肢装具学会学術大会 (仙台国際センター)	1社
9月 6日～ 8日	第30回日本緑内障学会 (ホテル日航熊本)	1社
9月26日～27日	第44回 日本足の外科学会学術集会 (ロイトン札幌)	1社
10月25日～27日	第64回日本口腔外科学会総会・学術大会 (札幌コンベンションセンター)	1社

開催日	内容	参加企業数
10月25日～27日	第47回日本歯科麻酔学会総会・学術集会 (岡山コンベンションセンター)	1社
10月31日～ 11月1日	第37回日本頭蓋顎顔面外科学会学術集会 (国際ファッションセンター)	1社
11月29日～30日	第14回 医療の質・安全学会学術集会 (国立京都国際会館)	1社
12月 3日～ 6日	第42回日本分子生物学会 (福岡国際会議場マリンメッセ福岡)	1社
12月 5日～ 7日	第32回日本内視鏡外科学会総会 (パシフィコ横浜)	2社
12月 7日～ 8日	第6回日本スポーツ理学療法学会学術大会 (帝京平成大学池袋キャンパス)	1社
12月11日～12日	第49回日本創傷治癒学会 (大宮ソニックシティ)	1社

③ 新エネルギープロジェクト推進事業

県内中小企業と住宅メーカー、大学等との連携による住宅用創エネ・省エネ・蓄エネの製品・技術の研究開発を支援した。

ア 総合相談の実施

(ア) コーディネータの配置 5名

(イ) 相談件数 490件

イ カスタマイズ製品開発・テストマーケティング補助金

販売先ニーズに合わせた改良開発を補助 (補助率 2/3) 上限 300 万円×3 件

企業名	主たる所在地	テーマ名
(株)豊島製作所	東松山市	省エネ用途にカスタマイズした熱電変換素子の製造工程改善
(株)ベルニクス	さいたま市	蓄電池 (BMS) & 省エネデバイス装置のカスタマイズ
(株)ネギシ	上尾市	「太陽熱利用温水式PCM床暖房システム」実証モデル・プロジェクト

ウ 展示会出展支援

試作品のマーケティング調査、製品の販路開拓のため、展示会出展支援

開催日	展示会名	企業数
1月29日～31日	ENEX2020 (東京ビッグサイト)	5社
1月29日～30日	彩の国ビジネスアリーナ 2020 (さいたまスーパーアリーナ)	8件 (次世代住宅産業プロジェクトテーマ別)

エ 先端技術等標準化の支援

直膨式地中熱ヒートポンプシステム、太陽光・熱ハイブリッドパネルの製品性能の評価方法についての標準化を図るため、開発企業の技術担当者に対して標準化作業上の必要な支援と進捗管理などを行った。

標準化検討委員会を3回開催

④ ロボットプロジェクト推進事業

成長が見込まれるロボット分野における新たな技術の研究開発や実用化・製品化を支援した。

ア 総合相談の実施

(ア) コーディネータ等の配置 3名
(イ) 相談件数 134件

イ ロボット関連セミナーの開催

(ア) ロボット要素技術実践セミナー 2回開催
(イ) ロボット技術参入支援セミナー 1回開催

ウ ロボティクスシーズマッチング 1回開催

大学等の持つ最先端のロボット関連技術シーズと企業のものづくり技術とのマッチングを通じて、県内企業のロボット産業への参入を支援した。

開催日	シーズ提供大学	参加者数
10月29日	電気通信大学	47人

エ 分野別研究会（生活・サービス領域ロボット研究会） 2回開催

開催日	場所	参加者数
12月12日	ソニックシティビル	26人
2月21日	新都心ビジネス交流プラザ	20人

オ ロボット製品試作・実証支援 7件

カ 展示会出展支援 3回

開催日	場所	参加者数
9月3日～7日	第37回日本ロボット学会学術講演会	1社
12月18日～21日	2019国際ロボット展	5社
2月12日～14日	第4回ロボデックス-ロボット[開発]・[活用]-展	4社

⑤ ナノカーボンプロジェクト推進事業

今後様々な応用製品が期待されるナノマテリアル分野の研究開発、展示会出展等を支援した。

ア 総合相談の実施

(ア) コーディネータ等の配置 3名
(イ) 相談件数 243件

イ ナノマテリアル人材育成事業

(ア) ナノカーボン研究会

研究会名	開催回数	試作開発テーマ
高強度部材研究会	4回	液状 MMA モノマーElium®をベースとする長尺 CNT 化学結合被覆リサイクル CF 不織布/PMMA 複合体の作製と力学特性
		長尺 CNT / ランダム PP 複合材
		CNT / 熱可塑性樹脂 電磁波吸収体
EDLC 研究会	3回	CNT 微細パターンニングによる電気二重層キャパシタ
面状発熱体研究会	4回	ナノカーボンを用いた面状発熱体
		CNT の高周波特性
CNT 線研究会	3回	Cu 含侵 CNT 線の開発 ※特許出願
CNF 研究会	4回	CNF / PP マスターバッチ特性
		CNF / シリコンゴム マスターバッチ物性

○nanotech2020 出展：試作開発した 9 試作品を展示

○ナノテクノロジー技術交流会（研究会成果発表、ポスターセッション）

開催日：2月21日 参加者：46名

(イ) 分散・評価体験型セミナー

製品開発で重要となる分散や評価について、分析機器メーカーと協力し、実際に機器を使用して学べる体験型セミナーを開催した。

開催日	内容	参加者数
10月9日	CNT 分散液の粒度分布と超音波ホモジナイザー	17人
10月28日	CNT 分散液の粒度分布と分散液を塗布した乾燥被膜抵抗	16人
11月27日	CNT 分散液の粒度分布とラマン分光 G/D 比	13人
12月11日	CNT 分散液の粒度分布と TGA 結果	14人
12月23日	CNT 分散液の粒度分布と乾燥被膜の熱伝導率	12人

ウ 展示会出展支援

開催日	展示会名	企業数
10月31日～11月2日	富山県ものづくり総合見本市 2019 (富山産業展示館)	3社
1月29日～31日	SURTECH2020 (東京ビッグサイト)	1社
1月29日～31日	Nanotech2020 (東京ビッグサイト)	4社

⑥ 航空・宇宙産業への参入支援事業

ア 総合相談の実施

- (ア) コーディネータ等の配置 5名 (コーディネータ：3名、アシスタント：2名)
 (イ) 相談件数 242件

イ 航空機関連セミナーの開催

航空機産業への参入を促進するために、技術動向や参入に関するセミナーなどを実施した。

事業名	実績
航空機産業参入研究会	7月10日 24名 テーマ 「日本の航空機産業の現状」
	9月19日 23名 テーマ 「川崎重工業 西神工場見学」
	11月14日～15日 12名 (ウラノ)、11名 (SPP) 株式会社ウラノ長崎工場・SPP長崎エンジニアリング株式会社の視察
	12月6日 14名 テーマ 「株式会社島津製作所本社・三条工場」の視察

ウ マッチング支援

航空機産業への参入を促進するために、販路開拓につながる国内外の展示会への出展を支援したほか、航空機メーカー等とのマッチングを実施した。

(ア) 展示会出展支援

展示会名	実績
Business Aviation Convention & Exhibition (NBAA-BACE) 2019	10月22日～24日 出展企業 2社
COMPOSITES MEETINGS	11月13日～14日 出展企業 1社
DSEI JAPAN 2019	11月18日～20日 出展企業 3社
彩の国ビジネスアリーナ2020	1月29日、30日 出展企業 8社

(イ) マッチング支援

事業名	実績
川崎重工業株式会社	9月20日 参加企業 3社
株式会社島津製作所	1月29日 参加企業 8社
株式会社ウラノ	2月25日 参加企業 6社
CTM DESIGN社 Robin Dunrop氏の招聘	11月13日～15日 参加企業 8社
チャイナエアライン元副社長、タイガーエア元CEOの招聘	1月8日～10日 参加企業 6社

エ 航空機関連資格取得支援

航空機部品を製造する際に必要な国際的な認証資格（J I S Q 9 1 0 0、N a d c a p）の取得を促進した。

J I S Q 9 1 0 0 認証取得助成金交付候補指定 2社

オ 一貫受注体制の構築支援

企業のグループ化による一貫受注体制の構築支援を実施した。

埼玉県航空・宇宙産業一貫生産体制構築支援事業助成金交付 2件

カ 人材育成補助金

航空機産業にかかる人材を育成するためのセミナー、講習会への受講料を補助し、航空機産業に従事する県内企業の人材育成を支援した。 4社 9件

(2) 中小企業 I o T 活用支援

県内ものづくり企業等の I o T 活用に関する相談に応じるため I o T コーディネータを 3 名配置するとともに、I o T 活用の最新情報及び活用事例を紹介するセミナー等を実施した。

① I o T 活用に向けた支援

ア 総合相談の実施

(ア) I o T コーディネータ の配置 3 名

(イ) 相談件数 3 6 1 件

イ I o T 活用推進協議会の設置・開催 3 回

ウ I o T 活用事例の発信

I o T 機器の活用・導入に関する動画及び冊子を作成し周知した。

エ 中小企業向け I o T ・ A I ツール展示会の開催

I o T ・ A I を導入したい企業向けに 2 0 社のツールメーカーや S I e r 等がプレゼン、パネルセッションを行うマッチングイベントを開催した。

オ I o T 普及セミナーの開催

I o T に関する最新技術動向や活用事例を紹介するセミナーを開催した。

開催日	テーマ	参加者数
4月11日	「人工知能 AI の現在とこれから」 「経済産業省のIoT関連施策について」 「平成31年度公社IoT・AI活用支援事業紹介」	76人
6月19日	「ものづくり企業のIoT利活用の経営戦略」 「平成30年度IoT補助金で導入したIoTシステム成果発表」	70人
9月25日 【狭山開催】	「地域経済牽引事業に結びつくIoT・AIの活用」 「平成30年度IoT補助金で導入したIoTシステム成果発表」	31人
12月4日 【加須開催】	「在庫管理・入出庫管理の課題と改善の方向性について」 「平成30年度IoT補助金で導入したIoTシステム成果発表」	33人

開催日	テーマ	参加者数
1月30日	「AI×IoTでつながる、かわる未来！～これからの時代を生き抜くために～」 「NTT 東日本が手掛ける中小製造業における AI 活用について」	207人
3月6日 【秩父開催】	「IoT・AI 活用から始まるものづくりの変革～IoT・AI の基礎知識と実践活用の方向性～」 「事例から学ぶ、ものづくりの IoT 活用の進め方」 ※新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から中止とした。	中止

カ IoT人材育成講座の開催

中小企業が自社にIoTを導入する人材を育成する講座を開催した。

開催日	内容	参加者数
7月24日～ 1月21日	オーダーメイド型 AI、IoT 研修	4社
8月8日～3月5日	AI・IoT人材育成研修（技術者養成コース） 【18日間】	30人
9月4日～2月6日	AI・IoT人材育成研修（導入技術研修コース） 【6日間】	30人
9月5日～6日	IoT導入実践研修①（導入担当者向け） 【2日間】	13人
3月 3、4、12、13日	IoT導入実践研修②（導入担当者向け） 【4日間】	9人

② スマート工場化支援（中小企業ものづくりAIトライアル補助金）

IoTシステムの導入を促進するため、構築経費の一部を補助した。

採択企業	テーマ
(株) 田島軽金属	鋳肌目視検査をAI画像検査に置き換え、不具合見直しによるムダ費用の削減
(有) 比企オプティクス	AI・IoTを活用した光学ガラスレンズの検査システムの構築
北光金属（株）	画像認識AIを利用したクラッド材の自動目視検査システム開発

(3) 産学連携支援

県内中小企業の新製品・新技術開発、新規産業への参入促進、技術競争力の強化を図るため、「産学連携支援センター埼玉」を運営し、中小企業からの産学連携相談、大学・研究機関とのマッチング、競争的資金の獲得など、産学連携に係る総合的支援を実施した。

① 産学連携相談等の実施

「産学連携支援センター埼玉」にコーディネータを配置し、県内中小企業からの産学連携相談に応じるとともに、大学・研究機関とのマッチング、共同研究体の形成や競争的資金の獲得などの支援を実施した。また、産学連携ネットワークマネージャーを配置し、大学等の有望な技術シーズの開拓などを実施した。

内 容	実 績
産学連携相談件数	1, 0 1 0 件
マッチング支援数	1 8 9 件
産学共同研究取組支援数	4 6 件
競争的資金獲得支援数	5 1 件 (うち獲得件数 2 6 件)

② 産学連携支援ネットワーク事業

県内で産学連携に取り組む機関で構成される埼玉県産学連携支援ネットワーク会議を運営し、情報交換や県内中小企業を対象とした技術シーズ発表会を実施した。

開 催 日	テーマ	内 容	参加者数
6 月 1 7 日	第 1 回 産学連携支援 ネットワーク 会議「総会」	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 3 0 年度事業報告 ・平成 3 1 年度事業計画 ・構成機関における平成 3 1 年度産学連携事業 	4 4 人
7 月 4 日	第 1 回産学連 携技術シーズ 発表会 「画像処理の 活用」	<ul style="list-style-type: none"> ●講師：芝浦工業大学 システム理工学部 電子情報システム学科 教授 高橋 正信 氏 演題：「様々な画像応用システムと産学連携 事例」 ●講師：東京理科大学 工学部 電気工学科 講師 亀田 裕介 氏 演題：「様々なモノを人工知能(AI)が見る： 画像処理とセンシング」 ●講師：埼玉工業大学 工学部 情報システム 学科 教授 山崎 隆治 氏 演題：「画像処理技術の医学応用」 ●講師：東京電機大学 工学部 情報通信工学科 教授 長谷川 誠 氏 演題：「サーモグラフィ熱画像と人工知能」 ●講師：(一社) NHKエンジニアリングシ ステム特許部エグゼクティブエンジニア 山本 敏裕 氏 演題：「NHKの技術シーズ紹介（画像処理 関連）」 ●展示企業紹介 <ul style="list-style-type: none"> ・パシフィックシステム（株） ・(株) フジミック埼玉 	1 2 1 人
9 月 2 7 日	第 2 回 産学連携支援 ネットワーク 会議 「連絡会議」	<ul style="list-style-type: none"> ●平成 3 1 年度 第 1 回 産学連携技術シーズ 発表会の実績報告について ●発表会・交流会参加大学機関のご意見ご感想 について ●今後のシーズ発表会およびイベントについて ●産学連携フェア 2 0 2 0 について 	3 4 人

開催日	テーマ	内容	参加者数
10月18日	第2回産学連携技術シーズ発表会 「精密加工技術」	<ul style="list-style-type: none"> ●講師：埼玉県産業技術総合センター 技術支援室 機械技術担当 主任研究員 南部 洋平 氏 演題：「低周波振動ドリルによる微細深穴加工」 ●講師：東京電機大学 工学部先端機械工学科 准教授 小林 宏史 氏 演題：「光リソグラフィを利用したマイクロ部品製作」 ●講師：芝浦工業大学 システム理工学部 機械制御システム学科 助教授 酒井 康徳 氏 演題：「振動やレーザーの精密加工への応用」 ●講師：埼玉工業大学 工学部 機械工学科 准教授 長谷 亜蘭 氏 演題：「精密加工における技術と技能～加工モニタリング技術と技能五輪の紹介～」 ●講師：日本工業大学 基幹工学部機械工学科 教授 二ノ宮 進一 氏 演題：「PCDを利用した精密加工とPCDの加工」 ●講師：(株)入曽精密、(株)微細切削加工 研究所 代表取締役 斎藤 清和 氏 演題：「段取り替え自動化ロボット “ORIGAMI”が拓く微細切削加工の未来」 	65人
12月10日	第3回産学連携支援ネットワーク会議 「連絡会議」	<ul style="list-style-type: none"> ●第2回産学連携技術シーズ発表会実施報告について ●お宝シーズ発掘ツアーの実績報告について ●発表会・交流会参加大学機関のご意見ご感想について ●産学連携フェア2020について ●第3回産学連携技術シーズ発表会について 	34人
3月10日	第3回産学連携技術シーズ発表会 食と健康	※新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から延期とした。	延期
3月10日	第4回産学連携支援ネットワーク会議 「連絡会議」	※新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から中止とした。	中止

③ 産学連携に関する情報提供、交流の促進

大学・研究機関の技術シーズの展示紹介や企業とのマッチングを行う産学連携フェアを開催するとともに、メールマガジンによる情報発信を行った。

内 容	実 績
産学連携フェア ＜彩の国ビジネスアリーナ2020会場内で開催＞ 開催日：1月29日～30日 開催場所：さいたまスーパーアリーナ 出展機関：大学13、研究機関2 支援機関2 お宝シーズ発掘ツアー	来訪者数 1,874人 相談件数 507件 参加者 14人
大学シーズ発掘ツアー 埼玉県立大学 11月 8日 東洋大学 11月26日	参加者 14人 参加者 12人
産学連携支援メールマガジン	配信回数 15回

(4) 知的財産支援

中小企業等の知的財産の創造・保護・活用を促進して「知的財産立県づくり」を進めるために「知的財産総合支援センター埼玉」を運営し、知的財産に係る相談業務をワンストップで行った。

① 知的財産の相談支援

知的財産に関する幅広い知識・経験を有する民間企業OBを知的財産アドバイザー（7名）、特許活用コーディネータ（1名：兼務）として配置し、相談に対応するとともに、知財普及員を1名配置し、案件の掘り起こしを行った。併せて、専門性の高い相談に対しては、弁理士・弁護士による専門相談を実施した。

また、知的財産アドバイザーによる土曜開設相談会を実施したほか、テレビ電話相談を狭山市ビジネスサポートセンターと秩父市働空間に開設した。

内 容	実 績
相 談 件 数	2,469件＜国からの受託事業 2,127件を含む＞ （うち専門相談 112件）（うち出張相談 232件） （うち知財普及員による訪問172件）
土曜日開設相談	29件（来訪22件、電話5件、メール2件）
テレビ電話相談	秩父市働空間3回

【相談内容（区分別）】

図1：知的財産区分

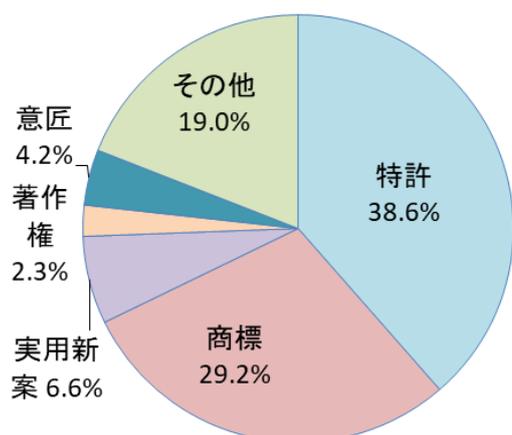
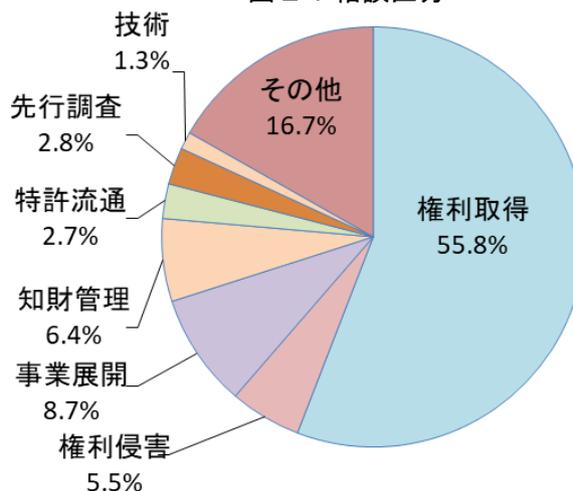


図2：相談区分



② 知財経営促進・人材育成

ア 知財専門家の派遣

知的財産を企業経営の中で戦略的に活用するため、弁理士等を派遣して、中小企業の知的財産に関する具体的な課題の解決を支援し、有望な知的財産の創造や効果的な保護・活用を促進するとともに、中小企業の知財活用体制強化に向けた支援を行った。

支援企業数	支援回数
21社	42回

イ 外国出願支援事業

優れた特許等を有し、かつ、海外において戦略的に活用しようとする県内中小企業に対し、弁理士と連携を図り、外国特許庁への出願支援を行った。

国別の出願状況は、中国6件、米国6件、韓国3件、欧州2件、台湾1件、ベトナム1件、ロシア1件、香港1件である。

支援企業数	内 訳
8社	9件（特許6、商標3件）

ウ 企業内知財人材養成講座

中小企業において、知財経営推進の核となる知財人材を養成するため、訪問による講座を実施した。

具体的には、知財の基本事項、特許情報プラットフォーム（J-Plat Pat）の活用方法、知財戦略等を講座の内容とした。

支援企業数	支援回数
3社	3回

エ 各種セミナー

知的財産に関する啓発や知識の向上を目的に、関係機関等と連携して知財経営セミナー、知財入門セミナー等を合計4回開催した。

開催日	内 容	参加者数	共 催
8月28日	【知的財産セミナー】 「海外進出と知的財産権問題」	35人	広域関東圏知的財産戦略本部 （関東経済産業局）、特許庁、 埼玉県
9月30日	【知財入門セミナー・地域】 知的財産セミナー 「ビジネスに役立つ知的財産 特許編」 <さいたま会場>	13人	日本弁理士会関東支部
12月13日	「ビジネスに役立つ知的財産 商標編」 <越谷会場>	8人	
12月12日	【知的財産セミナー】 「経営に必要な知的財産の活用」	43人	東和銀行との共催

オ 特許活用情報セミナー

大手メーカーが保有する開放特許の説明会及び個別面談を実施した。

開催日	内容	参加者数
12月4日	【知財ビジネスマッチング2019 inさいたま】 開放特許の説明会 富士通(株)、(株)リコー、一般財団法人 NHK エンジニアリングシステム、株式会社野村総合研究所 個別面談マッチング件数	43人 9件

③ その他

ア 知財総合支援窓口設置事業

独立行政法人工業所有権情報・研修館（I N P I T）から窓口運營業務を受託し、知的財産に関する幅広い知識・経験を有する民間企業OBを相談対応者及び窓口支援担当者（知的財産アドバイザーを兼ねる：7名）として配置し、知財に関する総合相談に対応した。

【再掲】

内容	実績
相談件数	2,127件

イ 埼玉県発明協会受託事業

（一社）埼玉県発明協会と業務委託契約を締結し、「児童生徒発明創意くふう展」をはじめとした事業に係る業務の一部を実施した。

ウ 新規相談企業の開拓に向けての取組

金融機関と連携し、相談ニーズのある企業を開拓するため、金融機関職員向けの知財研修を実施した。

開催日	内容	参加者数
11月7日	武蔵野銀行熊谷支店行員研修会	10人
11月8日	武蔵野銀行川越支店行員研修会	12人
11月21日	武蔵野銀行熊谷支店行員研修会	17人
2月10日	東和銀行行員研修会	39人
2月27日	埼玉りそな銀行研修ビデオ収録	—

(5) 次世代自動車産業支援

自動車の技術革新に伴う部品開発の転換や他産業からの新規参入が進むよう「次世代自動車支援センター埼玉」を運営し、自動車の電動化・軽量化等に伴う技術開発、製造現場の改善、国内外の自動車メーカー等への販路開拓の促進など総合的な支援を実施した。

① 技術等に関する総合相談

「次世代自動車支援センター埼玉」にコーディネータを5名配置し、県内自動車関連企業からの自動車技術に係る相談にワンストップで応じるとともに、大手自動車メーカー及びTier1メーカー等への技術マッチング支援まで総合的な支援を実施した。

内 容	実 績
技術等に関する相談件数	883件
技術マッチング件数	169件

② 自動車技術に関する研究開発の支援

ア 新製品・新技術研究会

自動車の電動化などに対応した部品開発の転換や、電機関連メーカー等の新規参入を支援するため、モータやパワーエレクトロニクス、CASEやMaaSに関する研究会を開催した。

(ア) モータ・パワエレ・水素エネルギー研究会（参加企業18社）

開 催 日	テーマ	参加者数
6月21日	「自動車を取り巻く課題と対応」 「電動車両の普及と課題」	60人
9月10日	「日産自動車における電動車用モータの取り組み」 「小型二輪車産業の将来」	49人
11月13日	「FCVの開発と初期市場の創出」 「水素エネルギー社会への取り組み」	41人
2月12日	「蓄電池を固体に」 「12Vリチウムイオン電池パック Sonic Power®（回生蓄電ユニット）の開発」 「固体高分子形燃料電池の現状と新規材料の開発状況」	42人

(イ) CASE研究会（参加企業32社）

開 催 日	テーマ	参加者数
7月30日	「群馬大学 次世代モビリティ社会実装研究センター内見学会、試乗会」	44人
8月27日	「EVと自動運転がもたらす自動車産業の大変化とその本質」 「Connected Car 社会の実現に向けて」 「自動運転技術の紹介」	53人
8月28日	「埼玉県連携自動運転バス試乗会」	15人
11月26日	「自動運転の高度化を目指して」 「自動運転の発展を支える自動車部品開発」 「ナビタイムジャパンのMaaSに関する取り組みと今後の展開」	63人
1月29日	「公道走行可能な自動運転バスの実験車両と自動運転の実用化・市販化」	41人
1月29日、 30日	「将来を見据えたクルマの魅力づくり」 「東洋電装の取り組みに付いて」 「車室内センシング技術へのクラリオンの取り組み」 「Hondaの新しい軽商用車「N-VAN」の商品概況説明」 「ヤマトグループの環境対策の取組みと、自動車（部品）産業向け物流ソリューション」	287人

イ 技術講演会

自動車関連産業の最新技術動向や新しいビジネス分野の情報提供として講演会を開催した。

開催日	内容	参加者数
7月 9日	第1回次世代自動車技術講演会 「2代目リーフの車両分解結果の紹介」 「次世代自動車支援センター埼玉 CASE研究会のご案内」 「将来自動車に向けた軽量化技術について」	56人
1月29日	自動車技術講演会（彩の国ビジネスアリーナ2020） 「Hondaの夢を世界の空に～Hondaにおけるジェットエンジン開発～」	132人

ウ ビジネス交流会

CASE や MaaS に関連した新たな企業の参入促進を図るためビジネス交流会を開催した。

開催日	内容	参加者数
10月 2日	「自動車産業のモジュール化・システム化と中小企業への期待」 「広島における地域企業の技術開発力育成支援の紹介」 「金属・樹脂の異種接合技術による世界標準確立」 「はがれない、放熱性・導電性を生むメッキ技術の開発」	67人
3月 3日	「自動車産業メガトレンドで変化するクルマづくりとビジネスチャンス」 「自動車車体のマルチマテリアル化動向と今後求められる技術」 「ホンダの次世代モビリティとエネルギーマネジメント」 ※新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から中止とした。	中止

③ 取引拡大の支援

大手自動車メーカー及びTier1メーカー等と新技術・新工法のマッチング会を実施した。

ア 国内における販路開拓支援

開催日	内容	実績
5月21日	株式会社ミスミ技術ニーズマッチング会	2社
9月 4日 ～ 6日	VACUUM2019真空展	7社
11月20日	東和新生会「ビジネス交流会」	2社
12月	マレリ株式会社技術ニーズマッチング会	13社
1月29日 ～ 30日	彩の国ビジネスアリーナ2020	6社
3月24日	豊田通商株式会社技術ニーズマッチング会	3社

(6) 課題解決に向けた企業間連携支援

企業同士の連携による新製品開発及び販路開拓等を支援することにより、県内企業の収益性の向上を図った。

① 企業間連携の促進

特定分野でなく広い見識を持ったコーディネータを新たに設置し、設定したテーマに基づいた交流会を開催した。

ア コーディネータの配置	9人
イ 企業間交流会の開催	2回

② 企業間連携グループの組成・研究活動支援

コーディネータが中心となり、複数企業の技術力で課題に対応できる企業間連携グループを6チーム組成し、試作品等開発及び開発した新製品等の販路開拓を支援した。

5 人材育成・情報支援

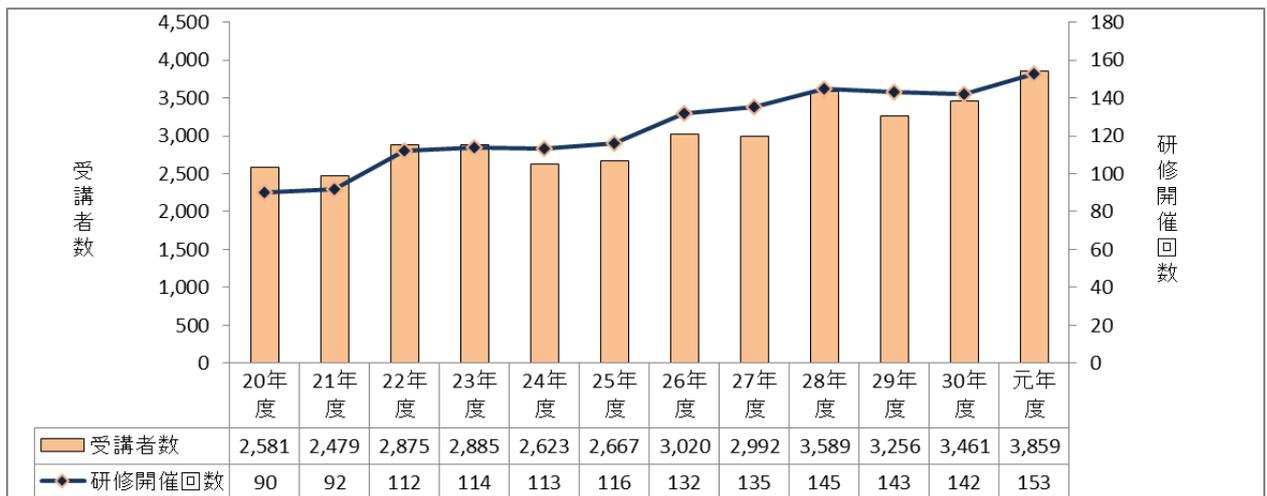
(1) 人材育成

① 研修

中小企業を対象とした研修機関として、経営環境の変化に対応できる人材の育成を目的に、新入社員から経営幹部までの各層に合わせた総合力強化研修や生産性向上研修などを153回実施した。そのうち、人材採用ノウハウ習得、中堅社員に必須の「仕事力」養成、サプライヤ診断手法習得など、新規研修を7回実施した。好評であった機械実技研修や設備の自主保全研修、ロジカルシンキングなどの研修を12回追加した。

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から3月に開催予定であった8回を含め、9回の研修を中止した。

研修受講者数と開催回数の推移



※オーダーメイド出前研修及び通信教育を除く

ア 総合力強化研修

(ア) 新入社員・若手社員研修

新入社員を対象に、企業人としての自覚を促すとともに、仕事への取り組み方、職場の人間関係、自己啓発の進め方、企業人としての基本行動等について学ぶ研修を21回開催した。

(イ) 中堅社員研修

中堅社員を対象に、その果たすべき役割と責任を認識させるとともに、仕事の管理、問題解決、リーダーシップ等の能力向上について学ぶ研修を13回開催した。

(ウ) 管理者研修

新任管理監督者及び管理監督者を対象に、管理監督者として必要な知識、役割、リーダーシップのあり方等について具体例を通して習得する研修を4回開催した。

イ 生産力向上研修

生産現場における効率化や品質向上、安全作業などの基礎的なスキルを習得する研修を22回開催した。

ウ 実務スキル向上研修

業種業態にかかわらず実務のスキルアップに役立つ知識や技法を習得する研修を40回開催した。

エ 機械実技訓練研修

県立高等技術専門学校と連携し、旋盤操作や切削技術向上、設計図解読など、中小企業の製造現場で働く若手社員を対象にした技能研修を28回開催した。

オ 地域密着研修

5Sといった人気の高いテーマに加え、新規で契約書とコンプライアンスの基礎研修を3回追加するなど、川越・熊谷・草加の3地域で15回開催した。

カ コンパクト研修

忙しい営業部門や管理職、経営者にも受講しやすいように、テーマを絞ってコンパクトにまとめた研修（3時間）を9回開催した。

キ プレミアム研修

講義と工場見学をセットにした5S工場視察研修を1回開催した。

ク 特別研修

(ア) オーダーメイド研修

個別企業のニーズに合わせた研修カリキュラムを設計し実施する企業訪問型の研修を21回（23日間：延べ受講者501名）開催した。

(イ) 通信教育

社員の自己啓発及び業務遂行能力の向上を図る通信教育を（株）日本能率協会マネジメントセンターと提携して実施し、26名が受講した。

令和元年度 研修実施実績

分 類		回数（回）	総日数（日）	受講者数（人）
通常 研修	新入社員・ 若手社員研修	21	38	849
	中堅社員研修	13	17	431
	管理者研修	4	8	102
	（小 計）	38	63	1,382

分 類		回数 (回)	総日数 (日)	受講者数 (人)		
通 常 研 修	生産力向上 研修	生産管理	5	11	170	
		現場改善	7	12	215	
		品質管理	6	10	151	
		設備保全・購買	4	5	128	
		(小 計)	22	38	664	
	実務スキル 向上研修	ISO	12	29	255	
		企業会計	4	6	77	
		技法習得	8	9	252	
		人事・労務	4	5	56	
		営業力強化	5	5	128	
		効率化	2	3	50	
		組織活性化	5	5	130	
		(小 計)	40	62	948	
	機械実技訓練研修		28	71	297	
	地域密着研修		15	15	319	
	コンパクト研修		9	9	233	
	プレミアム研修		1	1	16	
	通常研修 合計		153	259	3,859	
	特研 別修	オーダーメイド研修		21	23	501
		通信教育		—	—	26
特別研修 合計		21	23	527		
合 計		174	282	4,386		

② 明日を担うものづくり人材育成事業

埼玉県教育局等と連携を図りながら、将来のものづくりを担う人材の育成を図った。

ア 第29回埼玉県産業教育フェア

埼玉県教育委員会、埼玉県産業文化センター等との共催により開催した。当日は、企業1社が体験コーナーに出展し、子供たちにもものづくりの楽しさを体験するイベントを実施した。

期 日：11月9日～10日

場 所：大宮ソニックシティ地下1階展示場、鐘塚公園、大宮駅西口イベントスペース

来場者数：約19,000名

イ 高校生ものづくりコンテスト

県内の工業高校生を対象に埼玉県工業教育研究会が実施する「ものづくりコンテスト」に協賛し、上位入賞者に理事長賞を授与した。

開催日	部 門	会 場
6月15日	旋盤作業	ものづくり大学（行田市）
6月22日	化学分析	県立川越工業高等学校（川越市）
6月29日	電気工事	埼玉県電気工事工業組合（さいたま市）
7月14日	木材加工	日本工業大学（宮代町）
7月25日	電子回路組立	日本工業大学（宮代町）
8月 6日	測量	県立いずみ高等学校（さいたま市）

(2) 情報支援・ICT活用サポート

① 中小企業情報提供事業

中小企業が直面している様々な経営課題などに関する情報等を収集・分析・加工し、インターネットや情報誌、セミナー等で迅速に提供した。

ア 月刊情報誌の発行

公社事業を広く紹介するのをはじめ、県内の企業紹介や法律、税制、国際化など経営に役立つ情報を幅広く、タイムリーに提供した。

情報誌「アクセス埼玉」の発行 12回

(A4判20ページ 3,000部発行)

イ アクセス埼玉文庫の発行

「現場改善 ムダ取りの基本」シリーズ1～5巻を合計117冊頒布した。

ウ 企業経営座談会の開催

開催日	内 容
11月22日	<p>テーマ：「中小企業の知財戦略」</p> <p>出席者：有限会社ステンレスアート共栄 代表取締役社長 永友 義浩 様 株式会社テクニカルアーツ 代表取締役社長 山形 龍司 様 ビケエムサービス株式会社 代表取締役社長 布施 雅章 様 大山畳店 大山 恵美子 様</p> <p>司 会：公社 知的財産アドバイザー 小林 公</p> <p>掲載月：アクセス埼玉 令和2年1月号</p>

エ 賞与予測調査の実施

県内中小製造業を対象とした賞与予測調査を実施し、その結果を公表するとともに経営情報として提供した。

事 業 名	実 績	概 要
賞与予測調査の実施	2回	製造業 2,000社対象 有効回答率 夏季18.4% 冬季16.9%

オ 会員優待セミナーの開催

公社会員サービスの一環として、話題の最新情報や中小企業の経営課題にスポットを当てたセミナーを6回実施した。

開催日	テーマ	参加者数
5月17日	女性スタッフ活躍のコツセミナー	36人
8月26日	品質管理の急所を押える“10大手法”解説セミナー	60人
9月30日	マニュアル活用入門セミナー	40人
2月 3日	SDGs ビジネス活用セミナー	35人
2月14日	RPA入門セミナー	33人
2月25日	現場のムダをなくすためのIE手法実践セミナー	51人

カ 公社会員等交流事業

公社会員企業相互の交流と企業間ネットワークづくりを促進するため、経営者、後継者、経営幹部が一堂に会する講演会及び情報交換会を実施した。

開催日	事業名	内容	参加者数
2月18日	公社会員感謝の集い	テーマ： 「楽しくなければ仕事じゃない！～非常識な経営手法が企業と人を変える～」 講師：HILLTOP株式会社 代表取締役副社長 山本 昌作 氏	130人

公社会員数の推移

(単位：社)

	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度
公社会員数	1,356	1,377	1,413	1,417	1,425

(令和元年度における入退会の状況)

新規入会	退会	会員数増
81	73	8

キ DVD・ビデオソフトの貸出

経営や技術、人材教育などに関するDVD・ビデオソフト等を整備し、企業への貸出サービスを行った。

事業名	貸出実績	新規購入状況
DVD・ビデオソフト貸出	114社 延べ362本	21本 コーチング・スキル実践講座、部下育成実践のポイント、製造現場のコンプライアンス、パワハラを防ぐアンガーマネジメント、タイムマネジメントで働き方改革 など

② ICT活用サポート事業

中小企業の情報化を促進するため、ICTコンサルティングや地域連携ICTセミナー、ビジネスソフト研修等を実施した。

ア ICTコンサルティング事業

県内中小企業をIT専門家とともに訪問し、企業ホームページのアクセス数向上やSEO対策等のテーマで3社（延べ6回）にコンサルティングを実施した。

イ ウェブのお悩みサポート

ウェブサイトの制作者を中小企業1社に紹介し、ウェブの悩みに対応した。

ウ 地域連携ICTセミナー事業

商工団体と連携してITセミナーを2回実施した。

開催日	テーマ	参加者数	共催
11月7日	クラウド活用セミナー	22人	所沢商工会議所
2月27日	クラウド活用セミナー	10人	春日部商工会議所

エ ICTスキルアップ研修

利用頻度の高いビジネスソフト（表計算・プレゼンテーション・データベース）やインターネットを有効活用するための講座を26テーマ、39回開催した。

講座名	回数	受講者数
エクセル関連（8テーマ）	17回	228人
パワーポイント（2テーマ）	2回	22人
アクセスデータベース（2テーマ）	2回	24人
ホームページ作成関連（5テーマ）	5回	71人
デザインソフト関連（2テーマ）	5回	37人
業務効率化&営業力アップ関連（3テーマ）	4回	53人
コンパクト（4テーマ）	4回	52人
合計	39回	487人

オ バックリンク支援事業

公社ホームページにバックリンク専用サイトを構築し、中小企業のホームページのSEO対策を支援した。

リンク企業数 1, 167社

③ 公社内ICT管理事業

ア 公社内ICT管理

大宮事務所と北与野事務所間のネットワーク、公社共通企業データベース及びグループウェア（サイボウズ）の管理・運用により、公社内の情報共有を推進した。

イ インターネット情報提供

公社実施事業をより積極的にPRするとともに企業経営に役立つ情報の提供に努めた。

公社ホームページ	アクセス数1,047,510件/年
公社メールニュース	配信回数24回(毎月2回) 登録者数4,659人

ウ クラウドサーバーの構築

公社ファイル共有システムをパブリッククラウドサービスへ移行し、大宮事務所に設置していたサーバーのクラウド化を実施した。

6 その他

① 投資育成事業

平成16年度に統合した(財)埼玉県創造的企業投資育成財団サファイック(SAFIC)の事業を引き継いで実施しており、地域中核企業投資育成事業の投資先企業2社、ベンチャー企業投資育成事業の投資先企業2社に対して経営支援を行った。

ア 投資先企業等への支援

事業名	実績	概要
フォローアップ事業	18回	地域中核企業3回、ベンチャー企業15回個別訪問等によるフォローアップを実施

※地域中核企業投資育成事業における投資先企業1社は、令和2年3月をもって株式譲渡の手続きを完了した。

② その他

ア 職員の能力開発

公社職員の専門能力の向上を図るため、各種専門研修や公社実施の研修講座への参加を促した。

また、管理職職員を対象として「人事考課者研修」を開催するとともに、若手職員を対象に、製造業等の支援の際に必要な現場感覚を磨くため、機械加工の基礎知識を学ぶ「MONOづくり塾」を開催した。

イ 公社管理運営

業務改善の横展開を図るとともに、公社職員の業務改善の意識を高めるため、「改善事例発表会」を開催した。併せて、職員の健康増進を図り職場活性化に繋げるため、「メンタルヘルスケア研修」を開催した。

また、学生の就業意識の向上を図るためインターンシップの受入れを行った。

ウ 貸与事後処理

設備貸与事業の償却債権について、債務者又は連帯保証人に対して電話又は訪問による継続的な督促を行って回収に努めた。